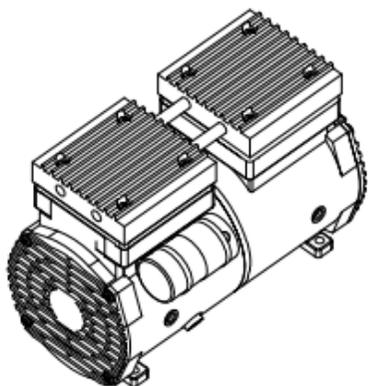


取扱説明書

ピストン式ポンプDP・LSシリーズ



真空ポンプをご使用になられる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
安全のため、及びポンプ故障の予防に関する情報が記載されています。

①ポンプ設置場所

1. 湿度の低い、埃の少ない通気性の良い場所に設置して下さい。
2. 周囲温度が40℃を越えない場所に設置して下さい。
3. ポンプを運転する前に必ず、吸気口及び排気口に取り付けてあるプラスチックの栓を外して下さい。取り外さず運転した場合故障の原因になります。
4. 振動減少の為、付属の防振ゴムをポンプに取り付けて下さい。
5. 平らな場所に設置して下さい。6. 屋外、及び炎の近くで運転しないで下さい。

②電気関係

1. 運転する前にポンプに記載されている、電圧及び周波数をご確認下さい。
2. ポンプに内蔵されているサーマルプロテクターは、規定の温度を超えた場合に自動的に運転を停止させます。後にポンプの温度が下がり次第、自動的に再起動致します。

③運転

1. 空気のみ使用して下さい。腐食性のガスや液体は使用できません。
2. 必ず吸気口にフィルターを取り付けて下さい。ポンプ内に埃が入ると故障の原因になります。
3. ポンプ停止後、徐々に圧力が低下します。もし圧力低下が望ましくない場合は、吸気口の前に逆止弁を取り付けて下さい。
4. 排気音は付属のサイレンサーを排気口に取り付けると、減少致します。
5. ポンプ内に圧力が残っている状態での起動はできません。ポンプ内部を大気圧にした後に起動して下さい。もし、圧力が残っている状態で起動させたい場合は販売店までお問い合わせ下さい。メーカーにてご要望に合うポンプを製作いたします。

6. 不適当なポンプの分解、修理は故障の原因になります。修理の際は販売店までお問い合わせ下さい。

7. このポンプはオイルフリーです。故障の原因となりますので絶対に油やグリス等を給油しないで下さい。清掃の際にも、酸性・塩素系・腐食性のある溶剤を使用しないで下さい。

④保証

正しくご使用いただいた場合、供給日から1年間又は8000時間の保証を致します。

※消耗及び摩耗する部品は除きます。

◎消耗品の種類と交換時期の目安(部品No.は別紙部品表を参照)

No.12 Oリング 5000時間 2個/台 No.14 バルブ 3000時間 4個/台

No.18 シリンダーシール 5000時間 2個/台 No.19 シリンダー 3000時間 2個/台

No.21 キャップシール 3000時間 2個/台

交換時期に達した消耗部品については、部品交換を行うか、販売店へオーバーホールを依頼して下さい。

部品が消耗した状態のまま使用されますと内部の損傷や故障、事故の原因となります。

⑤ 異常時の原因及び処置について

1. ポンプが起動しない a) 電源が供給されていない a) 主電源をご確認下さい
b) 低電圧 b) 電圧をご確認下さい
c) コンデンサー故障 c) コンデンサーの交換
d) ポンプ内部に残圧がある d) ポンプ内部を大気圧にしてください
e) モーター故障 e) 販売店までご相談下さい
f) サーマルプロテクター作動 f) ポンプの温度が下がるのをお待ちください
2. 圧力が上がらない a) ホース、配管からエアリーク a) ホース、配管をご確認下さい
b) フィルターの目詰まり b) フィルターの清掃、又は交換
c) シリンダー又はカップシール c) 該当部品の交換
d) バルブフラッパー不良 d) バルブフラッパーの交換
e) 計測器の故障 e) 計測器の交換
f) ポンプ容量不足 f) 容量の大きなポンプに交換
3. 異常音がする a) ベアリング不良 a) 販売店にご相談下さい
b) バルブフラッパー不良 b) バルブフラッパーの交換
c) シリンダー又はカップシールの不良 c) 該当部品の交換
d) 振動による共鳴音 d) 防振対策をして下さい
4. 異常加熱 a) 冷却風が遮断されている a) 通気性のよい場所に設置してください
b) 周囲温度が40℃以上 b) 周囲温度40℃以下の場所に設置してください
c) 吸気温度が高い c) 吸気温度を下げて下さい

問い合わせ先

〒181-0003 東京都三鷹市北野1-2-4

マルス株式会社 www.malus.co.jp

電話:0422-40-6150 FAX:0422-40-6152 e-mail:info@malus.co.jp